

## 平成29年度 学校関係者評価

◎ 評価できる    ○ 概ね評価できる    △ あまり評価できない    ▼ 評価できない

評価項目	評価	ご 意 見
キャリア教育の充実	◎6 ○1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新聞読み解き講座」に期待しており、学習活動発表会で発表してほしい。</li> <li>・専門性を生かした取組がされていると思う。</li> <li>・キャリアプランニング能力の向上に向け、1年次より計画的に取り組まれている。また、その内容は特色ある学校づくりにつながっている。</li> <li>・新しい取り組みが生徒の意識向上に大きな効果があったようで、30年度のキャリア教育にかけても期待する。</li> <li>・特に農業部において「トマト工場」の見学は、評価できると考える。農業に限らず最先端の現場見学機会を充実していただきたい。</li> </ul>
学力の向上	◎2 ○5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣はどの程度ついているのでしょうか？</li> <li>・何といたっても生きる力の基は基礎学力です。今後ともその点を重視してほしい。</li> <li>・個々の生徒の状況を考慮しながらの指導を、これからもお願いしたい。</li> <li>・種々の要因があるかと思うが、自己評価にて2学年で一旦評点が下がっていることが、3学年にどのような影響があるのか、分析いただければと考える。</li> </ul>
授業力の向上	◎1 ○6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく努力されていると思う。</li> <li>・生徒によるアンケートは良いですね。謙虚な先生方の姿が見える。</li> <li>・進路指導として色々取り組みをされている。</li> <li>・教員間の横通しにつき、その結果が反映されているように思われる。可能であれば具体的に共有活動で得た成果の「見える化」を期待する。</li> </ul>
豊かな心の育成	◎3 ○4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンパスカウンセラー2名体制をこれからも維持してほしい。</li> <li>・心の中は目に見えない部分ですので難しいと思う。</li> <li>・人権教育・国際理解教育を通して豊かな心を育む努力をされている。国際感覚を育む来年度のオーストラリア姉妹校との交流を期待する。</li> <li>・LGBTについては世界的関心事であり、日本でも認知向上が急務である。そのような意味においても、LGBTを議題に挙げ取り組んだことは評価できると考える。</li> </ul>
規律ある態度の育成	◎2 ○4 △1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた学校生活を送ることができており、学校外でも礼儀正しい生徒が多くなったように思う。</li> <li>・これまでの成果をみると改善傾向にあるが、評価点が昨年度より低いのはなぜか。</li> <li>・生徒自ら活動し、生徒自身が「自ら律する態度」を育成する指導をお願いする。</li> <li>・校則に従った生活指導そのものにつき、その根拠が周知・徹底されているのか多少不明である。</li> </ul>
いじめの防止	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの解消に向けた努力は評価できる。しかし、未だ解決できていない案件があるのが気になる。早期解消を。</li> <li>・各自の個性を認め合う「豊かな心の育成」が、いじめ防止となるのだろうと考える。すなわち自己評価が「豊かな心の育成」と同等になることが理想である。</li> </ul>

生きる力の育成	◎5 ○2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会とかかわる活動により一層取り組んでほしい。</li> <li>・実体験を重視していることは大いに評価できる。</li> <li>・プロフェッショナル in 有馬や職業人インタビューなど、多様なプログラムを通して、生きる力の育成に向けた取り組みがなされている。</li> <li>・いろいろな工夫でかなり生きる力の育成に効果を上げている。</li> <li>・今年度も職業人インタビューにかかわり、年々生徒の反応に変化が認められ、学校総合力の賜物だと評価できる。特に会話の流れをその場で自己理解し、自分の言葉で質問できる生徒が増えてきたことを実感している。</li> </ul>
開かれた学校づくり	◎3 ○4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人たちとかかわる機会がもう少しあるとよいと思う。</li> <li>・オープンハイスクールに多くの人が参加している。注目されていることに誇りと自覚を持って、これからも努力してほしい。</li> <li>・学校を積極的に公開し、魅力ある学校づくりを進めている様子を保護者、地域、中学校関係者に発信できている。</li> <li>・有馬の好感度は年々高くなっているように思う。職員の方の負担も大変だと思うが、協力の方法の改善を行ってほしい。</li> <li>・オープンスクールなど積極的な開放は評価できると考える。将来的にはリアルタイムでの Web による授業閲覧が可能となれば、裾野が広がり更に時代に合った「開かれた学校」となるのではないかとと思われる。</li> </ul>
学校評価の改善	◎1 ○5 △1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に問題は感じない。</li> <li>・全職員での取り組みが大切。これからも全職員が共通理解したうえで取り組んでほしい。</li> <li>・現状をしっかりとつかみ、全体のものとする取組は良いことだと思う。</li> <li>・来年度の学校評価に期待する。</li> <li>・目標値を数値化し、定量評価できる仕組みにつき、継続的に取り組んでいただきたいと考える。ただし、自己評価にて5段階とあるが、評価 A~D と点数の関係性が不明である。</li> </ul>

**※学校評価(自己評価)全般に関するご意見をお書きください。**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒さんたちが年々成長していくのを感じる。ご指導ありがとうございます。</li> <li>・全体的に評価が高いことがうかがえる。先生方の努力の姿が見える。</li> <li>・重点目標が具体的なプログラムとして展開されており、それらが有馬高校の魅力につながっている。</li> <li>・各部・各委員会も色々と工夫努力され、より良い学校づくりに励まれている。30年度の評価を期待する。</li> <li>・項目の洗い出しを含め、積極的な取組は評価できる。自己評価についても、シビアに評価できているのではないかと想像する。引き続き、時代の流れ生徒の感性変化に伴い、項目の見直しを視野に実施していただくことを期待している。</li> </ul>
--